

よくあるご質問

<<< 調査対象に関するご質問 >>>

Q 1. どうして調査対象に当てられたのか。

A：全国の「鉱業」「製造業」「卸売業」「倉庫業」の4産業を対象にしています。倉庫業は「倉庫台帳」より、事業所規模に応じて無作為に抽出したものです。なお、名簿の使用にあたっては、国土交通省の所管部署の了承を得ています。

Q 2. 前回は調査対象に当てられたが。

A：調査対象は、毎回無作為に抽出していますが、前回は引き続き今回も調査対象になっているケースはあります。特に、大規模事業所はほぼ全数調査ですので、毎回調査対象になっている可能性が高いです。

Q 3. 調査対象の産業（倉庫業）に該当しないのだが。

A：年間輸送傾向調査の回答用ファイルの問1の備考欄にて、現在の業務内容や営業倉庫の無い旨など、倉庫業以外の事業しかない旨をご入力の上、返信願います。

Q 4. 全社のデータ、もしくは、他の事業所の物流も回答するのか？

A：本調査の調査協力依頼状が到着した事業所の状況のみご回答いただければ結構です。ただし、対象となる倉庫は事業所が所管する全ての営業倉庫です。倉庫の種別（①1類・2類・3類 ②野積 ③貯蔵そう ④危険品（建屋） ⑤危険品（タンク） ⑥水面 ⑦冷蔵）が異なるごとに、また、倉庫の所在地の市区町村が異なるごとに、調査票を別のファイルにしてご回答ください。

Q 5. 営業倉庫以外の施設や業務も対象か？

A：営業倉庫からの出庫・入庫した貨物のみが対象です。

Q 6. 寄託荷主の手配により貨物の出庫、入庫が行われているので、貨物の輸送実態については把握していないのだが。

A：お手数ですが、寄託荷主にご協力をいただき、ご回答下さいますようお願いいたします。

Q 7. 近場にしか配送していないので、調査しても意味がないのではないか。

A：調査対象です。本調査では、届先地の近さ、遠さは問いません。なお、手運びや台車、自転車などでの輸送も対象です。

Q 8. 小売業者や元請・親会社など荷受人が、自ら貨物を引き取りに来るので、出庫は行っていない。調査対象外ではないのか。

A：調査対象です。荷受人側が引き取りに来る場合でも、貨物の出庫であり、調査対象となります。本調査では、輸送手段をどちら側が手配しているかは問いません。

Q 9. 当社は輸送事業者ではないので、対象外ではないか？

A：調査対象です。この調査は、輸送事業者に対する調査ではなく、出庫側から貨物の動きを捉えることを目的として行っています。

Q 10. 営業倉庫を休業中、または閉鎖、廃業したのだが。

A：年間輸送傾向調査の回答用ファイルの[問1]シートの備考欄に、休業・閉鎖・廃業の旨をご入力いただき、その年月をご回答ください。なお、令和2年度に稼働していた場合は年間輸送傾向調査のみご回答ください。

Q11. 会社が合併した。

A：調査依頼状が届いたご住所で事業を継続されているのであれば、調査対象です。回答用ファイルの事業所名には、新しい社名でご回答いただき、備考欄に旧社名も併記して下さい。年間輸送傾向調査票ファイルへの回答は、合併にかかわらず、事業所としての令和2年度の実績をご回答ください。

Q12. 社名を変更したので対象外ではないのか。

A：調査対象です。回答用ファイルの事業所名には、新しい社名でご回答いただき、備考欄に旧社名も併記して下さい。なお、令和2年度中に社名変更を行った場合、年間輸送傾向調査票ファイルへの回答は、変更前・変更後を通じた実績をご回答下さい。

Q13. 当事業所の倉庫から同一敷地内の荷主企業の倉庫、工場へ納品するだけでも対象か。

A：調査対象です。その際の「輸送手段」は「その他」をお選びください。

Q14. 「3日間流動調査」の調査日（10月19日～21日）に出庫がない。

A：「年間輸送傾向調査票」にはご回答ください。
「3日間流動調査票」は、[問1]シートと[問2]シートのみご回答下さい。

<<< 回答用ファイル・回答済ファイルに関するご質問 >>>**Q 1. パソコンがないため電子回答はできない。インターネットに不慣れでよく分からない。**

A：調査実施本部までご連絡ください。手順の説明や、電子回答以外の回答方法についてご案内をさせていただきます。

Q 2. 回答用ファイルのダウンロードができない。

A：調査実施本部までご連絡下さい。メール等で回答用ファイル等を貴事業所宛てに送らせていただくなど、代替りの方法をご案内させていただきます。

Q 3. 事業所のパソコンではエクセル（Microsoft Excel）が使えない。

A：回答用ファイルはエクセルの[xlsx]形式となっております。
この形式のファイルを操作できるエクセル以外のソフトウェアをお持ちであれば、そのままご利用いただいて構いません（その場合、ファイル形式は[xlsx]から変更しないで下さい。ただし、エクセル以外での動作検証は行っておりませんので、ご了承ください）。
この形式のファイルを操作できない場合には、電子回答以外の回答方法についてご案内させていただきますので、調査実施本部までご連絡下さい。

Q 4. 入力した回答済ファイルの返信（アップロード）ができない。

A：本調査専用サイトの回答用ファイル・関連資料のダウンロードページに、「電子回答マニュアル」がありますので、参考にして下さい。それでも返信（アップロード）ができない場合は、直接調査実施本部宛にEメールにてご返信いただいても結構です。その際にはメール本文に事業所番号、貴事業所名、ご担当部署、ご担当者名、電話番号もご回答ください。その他の返信方法をご希望の場合は、調査実施本部までご連絡下さい。

Q 5. 複数部署・倉庫の回答済ファイルをそれぞれ別に返信してもよいか。

A：回答用ファイルは、複数の部署で各々ダウンロードし、回答しても構いません。また、回答済ファイルの返信（アップロード）も、複数の人が別々に行っても構いません。ただし、ファイルの欠落・重複の防止などの観点から、できましたら事業所単位で取りまとめたいただければ幸いです。（ファイルは分割されていても構いません）。

Q 6. 回答用ファイルのExcelの行や列を移動させてよいか。

A：行や列の挿入や削除、移動はできません。行や列の非表示は可能です。

Q 7. 欄外にメモをしてもよいか。

A：3日間流動調査票ファイルの[問3]シートのみ可能です。同シートの欄外(シート右側の空白部分)に備忘用のメモなどを入力していただいても構いません。

Q 8. 3日間の件数が2,000件以上ある。

A：3日間流動調査票ファイルの[問3]シートでは2,000行までですが、それ以降に入力してください。

<<< 回答方法、回答内容に関するご質問 >>>

Q 1. 輸送業務を委託している業者と協議して調査票を回答してもよいか。

A：輸送業務を委託している業者と調整の上、可能な範囲でご回答下さい。ただし、事業所名、所在地、従業員数、出荷額、敷地面積、操業開始年次については、あくまで調査対象事業所のデータをご回答下さい。また、回答に協力いただいた委託業者の名称は、ご回答者氏名の欄に併記して下さい。

Q 2. 輸送経路や高速道路の利用状況などは輸送事業者に任せていて分からないのだが。

A：輸送経路や高速道路利用状況等、貴事業所で把握していない情報については、関係する輸送事業者とも調整をいただき、対応可能な範囲でご回答願います。

Q 3. 件数が多すぎて、「3日間流動調査票」に回答しきれない。

A：出庫リストなど調査項目に関連するデータがまとまっているお手持ちの電子データや帳票でも結構ですので、それらを返信ページから返信、または郵送で調査実施本部宛にご送付ください。また、3日分が難しい場合は、1日分もしくは2日分のデータをご回答いただき、[問1]シートの備考欄に「1日分のみ」または「2日分のみ」と明記してください。(備考欄の表記により、3日とも出荷があるなかでの1日分なのか、1日は出荷があり他の2日は出荷がないのか、判断するため重要なものです)

Q 4. 書き方がよくわからないのだが。

A：本調査専用サイトの回答用ファイル・関連資料のダウンロードページから、「年間輸送傾向調査票」「3日間流動調査票」それぞれの「回答のしかた」(PDFファイル)がダウンロードできますので、同資料を参考にしてご回答下さい。

Q 5. 「3日間流動調査票」で重量を回答することが難しい。

A：キログラム単位の重量がわからない場合は、[問3]シートのH列に実重量以外の数値を入力いただき、I列にその単位をご回答下さい。さらに[数量単位および換算率]シートにておよその1単位あたりの重量を入力してください。

Q 6. 締め切りを過ぎたので、回答しなくても良いか。

A：調査票の返信の締切日は11月10日ですが、多少の遅れであればご回答下さい。

Q7. 出荷している貨物が、「品類品目分類表」のどの品目に該当するのかわからないので、製品名、商品名で回答してよいか。

A：できるだけ「品類品目分類表」にある品類名（年間輸送傾向調査）、品目名（3日間流動調査）をご回答下さい。どうしても無理な場合には、製品名・商品名でも構いませんが、あくまで一般的な名称をご回答いただき、個別商品名などはご遠慮下さい。

Q8. 「3日間流動調査」で、貨物を倉庫業の倉庫（営業倉庫）や物流センターに納品した場合は、荷受人業種は「倉庫業」で良いのか。

A：真の荷受人が倉庫業であれば荷受人業種も「倉庫業」ですが、真の荷受人が倉庫業でない場合には、届先施設が営業倉庫であっても真の荷受人の業種をご回答ください。荷受人業種は回答用ファイルの「産業業種分類表」シートの内容例を参考にして下さい。

Q9. 「3日間流動調査」で、高速道路の利用状況は、最も輸送距離の長い輸送手段（代表輸送手段）がトラックの場合のみ、回答するのか。

A：代表輸送手段の種類にかかわらず、高速道路を利用した場合には、ご回答下さい。

Q10. 「3日間流動調査」で、輸送費用は自家用車（白ナンバー車）で輸送した場合も回答するのか。

A：自家用車での輸送費用は、ご回答なさらないで結構です。ただし、自家用車による輸送自体は本調査の対象となりますので、輸送費用以外の各項目はご回答願います。

Q11. ルート配送（巡回配送）の場合はどう回答するのか。

A：パン・清涼飲料水などの配達にみられる同一市区町村内の巡回配送は、1巡回配送をもって1件とみなします。この場合「所要時間」は最終届先地までのものを、「重量」は出発時のものをご回答下さい。また、複数の市区町村にわたる巡回配送の場合は、市区町村ごとに1件として、「所要時間」は出発時から各市区町村の最終届先地までのものを、「重量」は各市区町村ごとに一括したものをご回答下さい。「3日間流動調査票 回答のしかた」の12ページもご参照下さい。

Q12. ピストン輸送の場合はどう回答するのか。

A：1日に複数回（あるいは複数のトラック等）同じ場所へ同じ品目を運ぶ輸送（ピストン輸送）については、1日全体合計で1件の回答として下さい。この際、出発時刻は第1便の時刻を、所要時間は平均的な所要時間をご回答下さい。「3日間流動調査票 回答のしかた」の3ページの例1もご参照下さい。輸送費用は1件の総額でご回答下さい。